

## EUSI メールマガジン Vol. 069 「EU の社会政策から何を学べるか」(田中拓道)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

### 【EUSI Commentary Vol. 051】

#### 「EU の社会政策から何を学べるか」

田中拓道 (一橋大学大学院社会学研究科教授)

EU の社会政策を研究したり学んだりすることにどのような意味があるのだろうか。

戦後の西ヨーロッパでは、市民全体に平均的な生活を保障する手厚い福祉国家が根づいてきた。それは自由な市場を重視し、国家の介入を最低限にとどめてきたアメリカなどと異なり、「ヨーロッパ社会モデル」と呼ばれてきた。筆者を含め、これまで多くの日本の学者は西ヨーロッパの福祉国家をひとつの先進事例とみなし、その歴史や政策を研究してきた。

しかし EU という単位でみると事情は異なる。欧州統合の歴史とは、なによりヨーロッパ諸国が域内の市場統合をすすめ、アメリカやアジアとの経済競争に伍していこうとする歴史だった。

「ヨーロッパ社会モデル」が EU 単位で実現してきたかと言えば、それはきわめて怪しい。2008年以降の欧州債務危機は、EU 域内のひずみをあらためて認識させた。債務不安のターゲットとされたのはギリシア、スペイン、ポルトガルなど、中核国に比べて経済力のやや劣った国々だった。EU や IMF は、債務不安を鎮めるための緊急融資の見かえりとしてこれらの国にきびしい緊縮政策を要求した。増税、社会保障の削減、公務員の人件費カットなどはいずれも需要を縮小させ、景気を悪化させ、失業を増やしてしまう。この債務危機は EU 域内に巨大な経済格差があること、それを埋めあわせる再分配政策がほとんど行われてこなかったことを明らかにした。

ヨーロッパが通貨・市場統合へと大きく歩みをすすめたマーストリヒト条約(1993年発行)以来、社会政策はつねに競争的な経済政策を補完するものとして位置づけられてきた。

1993年の通称『ドローール白書』では、労働市場の柔軟化と雇用政策の共通化による「成長・競争力」の実現がうたわれた。2000年のリスボン戦略では、「よりよい職と社会的結束をともなう持続可能な経済」、「世界でもっとも競争的でダイナミックな知識基盤経済」を実現することが目標とされた。社会政策は、教育や就労支援によって人びとの就業率を向上させ、こうした経済を実現するための手段とされた。・・・

・・・

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol51.pdf>

## 【EUSI イベントご案内】

### 1. EUSI 政治プロジェクトワークショップ「総選挙後のイギリス政治と EU」

日時: 2015年5月16日(土) 15:30-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6F ホール G-SEC ラボ(会議場)

参加: 無料・事前登録不要

池本大輔 (明治学院大学法学部准教授)

「イギリスと EU の冷淡な関係: 国際通貨問題の視点から」

細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)

「イギリスは EU から離脱するのか?: 総選挙後イギリスの政治と外交」

司会・討論: 田中俊郎 (慶應義塾大学名誉教授、EUSI 理事)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/20150516-politics/>

### 2. 一橋 EU 法研究会 第 1 回研究会

日時: 2015年5月16日(土) 14:00-17:30

場所: 一橋大学東キャンパス マーキュリータワー 5F EUSI 会議室

野田輝久(関西学院大学法科大学院教授)

「EU 会社法」

西連寺隆行(明治大学法学部兼任講師)

「憲法裁判所による先決裁定付託」

※なお当日は、建物に鍵がかかっています。14時少し前にご到着頂くか、他の入館者の入館と同時に御入り下さい。なお事前に御連絡頂ければ、休憩時間の15時半過ぎに入口に迎えに行くようにいたします。

<https://sites.google.com/site/eulaw1284/research>

### 3. EUSI ワークショップ「EU とアジア諸国との関係」

日時: 2015年5月25日(月) 16:30-18:00

場所: 一橋大学東キャンパス マーキュリータワー 5F EUSI 会議室

講演: Enrico D'Ambrogio (欧州議会政策調査官)

司会: 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)

使用言語: 英語

参加: 当日参加も可能ですが、人数把握のため、5月21日(木)までに EUSI 事務局 (info@eusi.jp) に、1. お名前、2. 所属先を記入し、eメールでお送り下さい

<http://eusi.jp/outreach/2015-5-25/>

### 4. 「欧州留学フェア」のご案内が届いています

東京会場

日時: 2015年5月15日(金) 12:00-19:00 / 5月16日(土) 11:00-17:00

場所: 明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン 2F

京都会場

日時: 2015年5月17日(日) 12:00-18:00

場所: 同志社大学今出川キャンパス 良心館 1F ルーセントプラザ

主催: 駐日 EU 代表部広報部、欧州委員会教育・文化総局  
共催: Campus France(仏政府留学局)、DAAD(ドイツ学術交流会)、明大、同大

「欧州留学フェア」では、欧州 15 カ国の高等教育機関が合計 66 ものブースを出展し、欧州が提供する様々な留学・高等教育プログラムを紹介します。2014 年は 3 日間の開催期間中に過去最多の 2,000 人を超える来場者がありました。またこれら留学プログラムの他に、「Erasmus+」や「Horizon 2020」の枠組で実施される学生・研究者向けの EU 大学教育・研究助成プログラムの情報も提供します。

東京会場では、各機関ごとのプレゼンテーション、基調講演、高校生向けセミナー、欧州言語の語学体験レッスンが行われるほか、東京及び京都の両会場では日本人の欧州留学経験者によるパネルディスカッションが行われます。海外留学やヨーロッパでの勉強に憧れる皆様、ぜひ足を運んでみてください。

「欧州留学フェア」2015 公式 HP:  
<http://www.ehef-japan.org/>  
昨年度(2014 年度)「欧州留学フェア」の様子:  
<http://www.euinjapan.jp/media/news/news2014/20140523/160643/>

## 【日・EU フレンドシップウィークのご案内 Vol. 1】

「日・EU フレンドシップウィーク」は、文化、学術、スポーツなどの様々な交流イベントを通して、EU をよりよく知ることを目的としたプログラムです

### 1. 展示「日本のヨーロッパ発見」

(1872～73 年に岩倉使節団が見聞したヨーロッパの多様性と統一性)

日時: 2015 年 5 月 8 日(金)-6 月 5 日(金) 月～金曜日 9:30-16:30  
場所: 津田塾大学小平キャンパス 7 号館 1F ラウンジ  
主催: 津田塾大学、共催: EUSI、協力: オーストリア大使館

岩倉使節団は、特命全権大使岩倉具視以下、木戸孝允、伊藤博文など明治新政府の要人からなる大規模な公式使節団として、明治 4 年～6 年にかけて、アメリカ合衆国ならびにヨーロッパ各国に派遣されました。今回のパネル展では、イギリス、フランス、ドイツを始め、北欧からイタリアまで 12 カ国を歴訪した使節団の行程や時代背景などを示す貴重な写真や図版が展示されます。使節団一行が当時とヨーロッパをどのように体感したのかを感じ取ってください。

[http://www.tsuda.ac.jp/news/event/hak1k3000000a0bt-att/2015Friendship\\_week\\_Panel\\_flyer.pdf](http://www.tsuda.ac.jp/news/event/hak1k3000000a0bt-att/2015Friendship_week_Panel_flyer.pdf)

### 2. パネル展示・EU クイズ「EU の品質認証制度～本物のおいしさ～」

日時: 2015 年 5 月 25 日(月)-6 月 13 日(土)  
場所: 慶應義塾大学三田メディアセンター 2F・3F  
主催: 慶應義塾大学 EU 情報センター

2015 年の日・EU フレンドシップウィーク企画では、「EU の品質認証制度～本物のおいしさ～」をテーマに、高品質な EU 製品を保護・継承するための品質認証制度について紹介します。

EU オリジナルグッズがもらえる EU クイズも実施します。どうぞご参加ください。

※学外の方は、入口受付で「EU 展示見学希望」とお申し出ください。  
<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/eu/friendship.html>

### 3. 上智大学ヨーロッパ研究所より日・EU フレンドシップウィーク展示のご案内 「極限の時代における独裁と民主主義 20 世紀ヨーロッパ史を照らし出す光」

日時: 2015 年 5 月 12 日(火)-5 月 28 日(木)  
場所: 上智大学中央図書館 1F 展示スペース  
主催: 上智大学ヨーロッパ研究所 EU 情報センター、提供: ドイツ大使館

昨年第一次世界大戦勃発のきっかけとなったサラエヴォ事件から 100 年が経過し、  
本年は第二次世界大戦が経過して 70 年の節目にあたる。その間ヨーロッパは、  
二度の大戦、東西冷戦、ドイツ再統一、EU 拡大など激動の時代を生きてきた。  
本展示会では、ドイツ連邦大使館より提供された 25 枚のポスターを通じて、  
20 世紀におけるヨーロッパの足取りを振り返り、将来の課題を展望する。  
[http://dept.sophia.ac.jp/is/ei/wp-content/uploads/2015/04/15051228\\_exhibit.pdf](http://dept.sophia.ac.jp/is/ei/wp-content/uploads/2015/04/15051228_exhibit.pdf)

#### 【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)  
「EU 戦略的アセスメント指令の二条(a)の解釈」

【EU 法における先決裁定手続に関する研究(11)】  
『自治研究』第 91 巻第 5 号(2015 年 5 月) 102-113 頁

細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)  
「台頭する極右政党 EU 離脱もあり得るイギリス」  
『WEDGE Inifinity』2015 年 5 月 6 日  
<http://wedge.ismedia.jp/articles/-/4897>

#### 【EU に関するニュース】

- 2015 年 4 月 16 日 欧州自動車工業会(ACEA)、3 月自動車販売台数は EU28 カ国で 160.4 万台と前年同月比 +10.6%
- 2015 年 4 月 17 日 EU 報道官、中国でジャーナリスト高瑜女史への懲役 7 年判決受け人権や透明性に懸念の声明
- 2015 年 4 月 19 日 UNHCR、北アフリカから欧州に向かう難民船が地中海で転覆、700 名以上が不明と発表
- 2015 年 4 月 19 日 欧州委員会、地中海での相次ぐ移民・難民遭難を受け、新移民戦略準備や各国協力促す声明
- 2015 年 4 月 19 日 フィンランド議会総選挙、野党・中央党が第 1 党、反 EU 政党・真正フィン人党が第 2 党に
- 2015 年 4 月 20 日 EU 外務・内務合同理事会、移民に関する行動計画 10 項目採択。再定住や帰還プログラムなど
- 2015 年 4 月 20 日 ECB、2014 年次報告書発表。デフレ対策、2 度の政策金利引下げ、包括的銀行審査など実績強調
- 2015 年 4 月 20 日 コンスタンシオ ECB 副総裁、欧州議会にてギリシャのユーロ圏離脱を否定
- 2015 年 4 月 20 日 ノワイエ仏中銀総裁、ギリシャが EU・IMF と財政改革で合意なくばデフォルトの見通し指摘
- 2015 年 4 月 21 日 モグリーニ上級代表、化学兵器軍事使用 100 周年を受け、化学兵器禁止条約批准促す声明
- 2015 年 4 月 21 日 欧州委員会、EU 域内外での農産物販売促進のため 41 もの計画を承認、総額 1.3 億ユーロ規模
- 2015 年 4 月 21 日 欧州委員会漁業・海事総局、韓国に対する違法漁業国予備指定を解除と発表
- 2015 年 4 月 21 日 駐日 EU 代表部、気候変動に関するセミナー開催。EU 及び加盟国大使 6 名、自国の取組

み議論

- 2015 年 4 月 21 日 Eurostat、2014 年財政収支はユーロ圏 19 カ国で対 GDP 比 2.4%赤字、EU28 カ国で同 2.9%赤字
- 2015 年 4 月 22 日 欧州委員会、露・ガズプロム社がガス供給で不当要求、EU 競争法違反との異議告知書
- 2015 年 4 月 22 日 ユーロ圏財務相会合作業部会、電話会議。ギリシャの改革案は十分との合意に至らず
- 2015 年 4 月 22 日 ECB 政策委員会電話会議、ギリシャ銀向け緊急流動性支援(ELA)上限を 15 億ユーロ引上げ
- 2015 年 4 月 22 日 財務省、3 月貿易統計(速報値)。対 EU 貿易は輸出 7049 億円・輸入 7088 億円で 39 億円の赤字
- 2015 年 4 月 22-28 日 日・EU EPA 交渉第 10 回会合、東京で開催。貿易・投資・知財・非関税障壁問題など協議
- 2015 年 4 月 23 日 日・EU SPA 交渉第 8 回会合、東京で開催。協定全体の内容について協議
- 2015 年 4 月 23 日 欧州理事会特別会合、地中海の移民・難民遭難を受け、海上活動・人身売買対策強化等合意
- 2015 年 4 月 23 日 英 Markit Economics 社、4 月総合購買担当者指数(PMI)速報値はユーロ圏で 53.5 と前月比減
- 2015 年 4 月 24 日 ユーロ圏財務相会合(ユーログループ)、ギリシャの改革姿勢への不満紛糾、合意に至らず
- 2015 年 4 月 24 日 EU 報道官、シンガポールでの死刑執行を受け、同国の死刑執行停止を求める声明
- 2015 年 4 月 25 日 EU 経済・財務相理事会、EU 域内での資本調達円滑化に向けた「資本市場同盟」構想支持
- 2015 年 4 月 25 日 モグリーニ上級代表ら、ネパールとインドでの大地震発生に対し緊急支援用意に向けた声明
- 2015 年 4 月 26 日 欧州委員会、ネパール地震に対し 300 万ユーロの緊急支援拠出
- 2015 年 4 月 27 日 EU・ウクライナ首脳会談、EU と同国の政治経済連携強化や来年 1 月連合協定発効などで合意
- 2015 年 4 月 27 日 欧州委員会、ウクライナ・チェルノブイリ原発跡の安全回復のため 7000 万ユーロ追加支援
- 2015 年 4 月 27 日 独研究機関、英の EU 離脱は良くて実質 GDP0.6~3.0%減で、関係国含め損失との試算発表
- 2015 年 4 月 27-28 日 日・EU ビジネスラウンドテーブル、日・EU EPA 早期締結や広範な産業連携促す提言採択
- 2015 年 4 月 28 日 欧州委員会、「欧州安全保障アジェンダ」。テロ・組織犯罪・サイバー等包括的取組み提示
- 2015 年 4 月 28 日 欧州委員会とモグリーニ上級代表、安全保障強化のため EU パートナー諸国への支援強化提示
- 2015 年 4 月 29 日 欧州委員会とモグリーニ上級代表、人権・民主主義に関する新たな合同行動計画を提示
- 2015 年 4 月 29 日 ステイリアニデス人道援助・危機管理担当欧州委員、EU 人道支援調整のためネパール訪問
- 2015 年 4 月 29 日 ECB 政策委員会電話会議、ギリシャ銀向け緊急流動性支援(ELA)上限を 14 億ユーロ引上げ
- 2015 年 4 月 29 日 ECB、3 月通貨供給統計。民間向け銀行融資はユーロ圏 19 カ国で 3 年ぶりに前年同月比増へ
- 2015 年 4 月 29 日 EU 報道官、インドネシアでの死刑執行を受け、死刑執行停止要求や麻薬犯罪対策用意の声明
- 2015 年 4 月 30 日 Eurostat、3 月失業率(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国で 11.3%、EU28 カ国 9.8%で共に前月同

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、一橋大学大学院社会学研究科の田中拓道教授に執筆していただきました。EU から日本は何を学べるのかという基本的問題に向き合った問題意識あふれる論考となっています。

英国の総選挙が終わりました。予想を覆して労働党が保守党とスコットランド民族党との間に埋没してしまったような印象があります。英国における地域間の亀裂は根深いものがありますが、ましてやこれだけ拡大した EU 全体を見た

とき、その地域間の違いや格差の存在の大きさに気づかざるを得ません。今回のエッセイを読んで、改めて EU の意思決定過程の複雑さや「統合」ということの難しさを再認識しましたが、これらを「ねばり強い相互調整」と「詳細で共通の情報にもとづく政治」によって解決していこうとする EU のアプローチは大いに参考になるものがあり、その行方を是非注目していきたいものです。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン 編集担当)

先日まで GW で、欧州や海外に行かれた方も多かったのではないのでしょうか。ところで EU にとって観光ってどれくらいの規模なのだろうか？ということで欧州統計局(Eurostat)が出している観光統計を見てみると、これがなかなか面白そうで、ちょっと紹介してみます。

まず EU 域外からの観光客にとって、EU で最も訪問観光客数の多い国はどこか？と言われると、1 位スペイン(2.5 億人)、2 位イタリア(1.8 億人)、3 位フランス(1.3 億人)で、これら 3 国だけで EU 域外からの訪問観光客総数の 47.7%とほぼ半数を占めます。

ところが、これでは国土が大きな国が上位に入るのが当たり前ではないか？ということで、訪問観光客数÷人口＝観光密度指数(tourism intensity)を使うと意外なことに、1 位はマルタ、2 位キプロス、3 位クロアチアと、地中海諸国が圧倒的に上位を占めることになります。

ところで観光で皆さんいくらお金を使ってもらったか？という指標も気になり調べてみると、観光収入の 1 位はスペイン(455 億ユーロ)、2 位フランス(422 億ユーロ)、3 位イタリア(331 億ユーロ)で、先の順位と大差ありません。ですが観光収入を対 GDP 比でみてみると、興味深いことに 1 位はクロアチア(16.7%)、2 位マルタ(14.5%)、3 位キプロス(13.2%)となり、これら地中海諸国がいかに観光が大きな産業基盤を形成しているかということがうかがえる内容でした。その反対に、観光にいくらお金を使ってもらったかではなく使ったか？という指標をみると、1 位はドイツ(646 億ユーロ)、2 位イギリス(396 億ユーロ)、3 位フランス(319 億ユーロ)で、スペインは観光客にお金を使ってもらっても、自分で使う上では財布のひもは固く堅実な様子が見ええます。

これから初夏から夏に入り、観光する上でも良い季節を迎えることになります。多くの皆さまの旅の目的地の中にもヨーロッパが入ってくるよう願っています。

Eurostat - Tourism Statistics

[http://ec.europa.eu/eurostat/statistics-explained/index.php/Tourism\\_statistics](http://ec.europa.eu/eurostat/statistics-explained/index.php/Tourism_statistics)

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン 編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

---